

環境の消毒方法

手指が頻回に接触する箇所を中心に、消毒用エタノールや次亜塩素酸ナトリウムによる清拭を行いましょう。

<手指がよく触れる箇所の例>

- ・ ドアノブ、手すり、窓や棚の取手、照明のスイッチ、テーブル、椅子、電話機、パソコンのキーボード、エレベーターやオートロック及びコピー機等のボタン、水道の蛇口、洗水レバー、便器のフタ

<消毒の方法>

- ・ ペーパータオル等に十分に消毒液を含ませて拭いた後、水拭きする。
- ※ スプレーボトルでの噴霧は、ウイルス飛散の可能性があるため、好ましくありません。
- ・ 消毒用エタノールは、希釈せずそのまま使用できるものが多いです（消毒用エタノールは自然乾燥させる）。

<消毒液の作り方（次亜塩素酸ナトリウムの場合）>

- ・ 一般的に「塩素系漂白剤」（塩素濃度約5%）として販売されています。
- ・ 製品の記載濃度をもとに、用途に応じ、薄めて使用してください。

用途	濃度	希釈方法
ドアノブ、手すり等の消毒	0.05% (500ppm)	500ml のペットボトル 1 本の水に塩素系漂白剤を 5ml（ペットボトルのキャップ 1 杯）入れる
トイレや洗面所等の消毒	0.1% (1,000ppm)	500ml のペットボトル 1 本の水に塩素系漂白剤を 10ml（ペットボトルのキャップ 2 杯）入れる

<次亜塩素酸ナトリウムを扱うときの注意点>

- ・ 作った消毒液は、時間の経過とともに効果が減少していきます。作り置きをせず、こまめに作って使い切ってください。
- ・ 消毒液を入れたペットボトルは、「消毒液・飲用不可」等の表示をして乳幼児の手の届かない場所に保管するなど、誤飲を防ぎましょう。
- ・ 使用するときには、換気を十分に行ってください。
- ・ 有毒な塩素ガスが発生しますので、酸性のものと絶対に混ぜないでください。
- ・ 皮膚への刺激が強いので、直接触れないよう、ビニール手袋などを使用してください。手指の消毒には使用しないでください。
- ・ 皮膚に付着した場合は、直ちに大量の水で十分洗い流してください。
- ・ 目に入った場合は、直ちに大量の水で十分洗い流し、医師の診察を受けてください。